

北朝鮮はなぜ国家として存続できるのか

2009/6/12 商学部一回生 田中大伍

- ① 概要
- ② 疑問点
- ③ 本論
- ④ 結論

① 概要

今、ニュースなどで報道している通り、また北朝鮮が核実験に及んでいる。なぜ、国際化する社会でこのような行為に及べるのか、またその目的は何なのか疑問に思い、調べることにした。

② 疑問点

- ・ 今軍事行動を起こす理由
- ・ 北朝鮮が軍事行動を行っているにも関わらず、厳しい制裁がない

③ 本論

北朝鮮が今軍事行動を起こすことには、金正日総書記の健康とおおいに関係がある。金正日総書記の影響力が弱ってきた今、外部に敵を作ることで、国内の結束を高めることと、ミサイルについて話したいという名目でアメリカと話し合い、米朝国交正常化をしたいのだ。つまり体制の崩壊を防ぎたいのだ。

さらに北朝鮮にたいし、日本・韓国・米国の視点から北朝鮮の軍事行動に対する姿勢を考える。

- ・ 日本

拉致問題・隣国と言うことで厳しく制裁を加えたい。なお、北朝鮮に対する日本の貿易を全面停止した場合、5%~7%GDPにマイナス・インパクトを与えることができる。さらに主にパチンコ業界における不正送金をやめさせることができれば10%を超えるマイナス・インパクトを与えられる。(自民党・試算結果より)

- ・ アメリカ

世界のリーダーとして強力な制裁を加えることで面子を保ちたいが、中国との関係を視野に入れ、緩めの制裁の方向。核拡散防止が目的のため北朝鮮に対して慎重

- ・ 中国

難民問題があることや、韓国と統一されてほしくないこと、アメリカ勢力がアジアに出現する懸念から緩い姿勢

- ・ 韓国

難民問題や、平和的統一への懸念から、北朝鮮が発展する必要があり、崩壊されてはこまるので緩い姿勢。

このように各国の姿勢を見ると

強硬派…日本・

軟弱派…中国・韓国・米国

となり、対朝政策は方向転換が必要なように思える。国際連合の常任理事国に中国が入っていることもあり、制裁は緩くなると思われる。

④ 結論

北朝鮮の軍事行動の目的は“攻撃”にあるのではなく、体制崩壊を防ぐための“防御”にあると言える。そして比較的ゆるい制裁は、北朝鮮に崩壊されないほうが都合が良いからだと言う大国のそれぞれの思惑があるからである。

北朝鮮民主主義人民共和国

人口：2300万人(日本の5.2分の1) [CIA推定]

GDP：160億ドル(一人当たり700ドル) [韓国銀行推定]

元首：金正日総書記

収入源；貿易のほか、偽札作り・偽バイアグラ作り・麻薬売買・覚せい剤売買など

国家の最大の目的

南朝鮮からアメリカ帝国主義の侵略兵力を撤退させ、その植民地支配を終了させ、日本軍国主義の再侵略を粉碎するために闘い、社会の民主化と生存のための南朝鮮人民の戦いを積極的に支援し、自主、平等、民族大国の原則に基づいて祖国を統一し、国と民族の統一的發展のために戦う。 (労働党条約前文「南朝鮮開放と統一」より)

→韓国との統一を目的としている

→この目的のために日本人を拉致

国家存続の3つの柱

① 儒教

北朝鮮に深くある文化。他民族を悪とし、国内団結を図る

② 振り子外交

大国間を行き来し、大国どうしの分断を図る

③ 核

おもに対外交渉のカードとして使う。国民に力を見せ付ける。

〈参考〉

北朝鮮データブック/重村智計/講談社新書

北朝鮮の外交戦略/重村智計/講談社新書

マネーロンダリング/門倉貴史/青春新書

外務省ホームページなど